

KODAK
LICENSED PRODUCT

M

Y

C

KODAK Gray Scale



三上

噎食	肺癰 <small>痰 附肺</small>	痰飲	霍亂	中寒	諸病門	卷之三上
反胃	呃逆	喘息	感冒	中溼	傷寒	
	嘔吐	欬嗽	發熱	中熱	時疫	

ヤ 9
1064
5



79
1064
5

普救類方卷之三上



傷寒

傷寒煩つき三日のち頭痛熱ありと汗出る

葱の白根と糸一ひきゆせ粥の煮て酢少々入熱して食し汗出る

金匱 本草綱目

又方細茶葉一撮胡桃仁二つ葱白七つ生姜二片枳殻からしめ

して煎じ飲み衣服をあつく蒸して汗をいれべし千金方

又方蒼朮二片荊芥一合甘草二分水一斗煎じ用ゆ 同

又方乾艾を水一斗に煎じ湯をいれ湯に用ひ汗をいれ金匱

傷寒煩つき六七日して熱熾に狂おし走りて小便のれ煮て汁を

煎じみみふやどとり腋の内を煮て去小便のれ煮て汁を

林良適
丹羽正伯

纂輯



91-1813

普救類方 卷之三上

本草綱目

飲より或い生る虫のけをまわりのをとり
又方青布一尺冷水に浸し細く切り湯に煮る同
又方寧水石二石黄連一石粉一石甘草の黄湯に用ゆ同
又方龍膽草を粉し二石鶏子の白と水との内へ入れかき
ゆせ飲ぶ同

又方鶏子一つ生して香より同
傷寒熱甚く熱牙面より黄を小なりしゆ

茵陳山梔同くありて黄に食後一のをとり 衛生易簡方

傷寒汗を多し後却て熱をある虚なり
芍薬六分甘草炙く六分附子二分水天目一盃入一盃煮
はめ用ゆ 本草綱目 附子の事製法のちあり

傷寒汗を多く発し之節ひくりに肉をうごた
白本防風牡蠣粉各二分粉して二盃ゆ又飯の湯に用ゆ 得効方

傷寒汗を多し吐く或は下し後より若くは熱がく眩なり
大分の梔子仁四つ甘草一分水天目一盃入七分ゆ煮用ゆ 同

傷寒熱さうんし細く切り湯に煮る
若参二分硫天目一盃入一盃煮ゆ多飲し喉を指し
ふり吐てゆ 本草綱目

又方枳実を煮しかきまぜ粉し二石飯の湯に用ゆ方
又方巴豆と黄連と細く切り津しそと紙脈の中に入れ其よ
り灸をとりしゆ 十便良方

傷寒陰症よく腹のむし
乾姜二分生附子二分水天目一盃入一盃煮ゆ煮ゆ用ゆ 得効方
附子の事製法のちあり

又方百草煎二分枯苓一分同く粉し熱酒に入飲べし汗を
いゆり同

傷寒陰症よく腹のむし

乾姜二分生附子二分水天目一盃入一盃煮ゆ煮ゆ用ゆ 得効方
附子の事製法のちあり

又方百草煎二分枯苓一分同く粉し熱酒に入飲べし汗を
いゆり同

又方百合十五炒黃一粉少と二五づ飯のそり湯とく用也 衛生易簡方

傷寒小後いそつと頭痛腫いそり湯とく用也 本草綱目

川烏頭乾姜各一分炒塩一撮入水と煮て用也汗せとく用也

又方大なる附子然つとやま皮と臍と然つと粉して二五生薑汁

一盞内一盞の内へ入かき使せ飲べ一良志とくと臍の下換とく

愈 同附子の事製法のありあり

傷寒咽いしむ 甘草二十五と密と水とを入かき煮て五合して煮二合

に黄つり飲ては 同

傷寒呃逆あぐや使とく 同

又方雄黄二五酒二合半とて煮二合とて換とく 同

臭くとり 同

傷寒嘔逆つりく食とく使とく

湯一泡つり半夏二五生薑二五水天目一盞入七分月一盞とつり

二夜一飲べ 得効方

傷寒小便あがり臍の下脹とる 本草綱目

石瘵を粉してとみとつ葱白を水と煮とく 同

又方茴香を粉して生薑汁とて記塗并一茴香六五滑石六五

傷寒大便とく 同

當返四分黃連八分水天目一盞いれ七分月一盞とつり 同

傷寒衄血とる 同

滑石の粉と飯のそり湯とて禱り大豆のたふぶとて二十粒嚼

とて水とて飲下とて 同

又方鮮から血あがり 同

傷寒 衄血并吐血止るらん

艾葉又生地黄又阿膠二各五分右之味合て二升水天目一
二重入れ一重一煎ドつち赤馬通のけを煮りとり右の葉の四へ
入挽まぜ煮り用とより 十便良方

傷寒 又の時 瘧病 痛むと甚くも豆のるる
やうれ思ふ

芙蓉之水天目一重入煮ドそけを痛む塗とより 痛
つらきも芙蓉三五升も水二升も入煮ドそけて痛む
ひし洗ふとより 得効方

傷寒 陰毒 とも足冷るる

吳茱萸炒酒一椀ゆせ湿一箱袋二つ一煎蒸極熱脚心
癢してより 十便良方

傷寒 寒熱毒 とも目つらくむ

露蜂房一升水天目一重入一煎に煮つめ俾さる目状あへ
くより 衛生易簡方

傷寒 熱毒 口中瘡 紫舌 だれら

芙蓉麻皮をぐり去蜜沈ゆり炙り粉してぬきづ 白湯
く用ゆ并に右の粉を口中にぬりてより 得効方

傷寒 狐惑 虫肛門の肉をうそてや痒み止るらん

雄黄をやき其烟して肛門をぬきとより 本草綱目

傷寒 諸症 愈後 熱 牙 瘻 瘻

柴胡一升甘草二分又厚水二升煮ドのりてより 同

傷寒 愈後 後 牙 瘻 瘻

と病を承久したりと勞復食復とより

紫葳系とゆして煮ド飲とより 同

傷寒 愈後 後 牙 瘻 瘻

大抵陰囊腫或々囊をゆりて後入腋中絞るごとく痛しあり

婦人月水の付腰にゆらゆら夜を焼成して二三日白湯にて飲時後備急方

又方交する女の衣服をた病人の下におふと良久して甦同

又方青竹の葉を皮次二合にせげより水三合して煮ぬるまで同

をけをのこして同

又方藜子次搗きけを飲同

又方葱の頭次搗破同

又方山梔子次同

傷寒陰陽易の男女病愈後十日して血をそののどと梅子母を

を炙りたる内男女交合されば男の病次女よりなり女病後されば男その

病とくつなり大槓をくく小服を同

又方膝拍急死かん同

婦人の禪襦袢門同

に三夜用て同

又方雄鼠屎同

又方蚯蚓同

又方乾姜同

又方雄鼠屎同

又方雄鼠屎同

又方雄鼠屎同

又方雄鼠屎同

又方雄鼠屎同

又方雄鼠屎同

又方雄鼠屎同

又方雄鼠屎同

又方雄鼠屎同

又方雄鼠屎同

又方雄鼠屎同

時疫おと 時疫おと 時疫おと

時疫おと 時疫おと 時疫おと

小蒜二三合と酢汁をとり煮るに飲てり 本草綱目

又方皂莢を焼粉し一汲その水生姜汁と蜜と以つて煮る

蒸ひ二入切らまぜのこを汗をわくくり 同

又方雞子一つ赤酢一合半の水に入れかきゆぜ別水七合半煮て

沸して右の雞子の水を入れ急ぎのこを汗をわくくり 肘後備急方

又方蕤苳根と葉と以て搗けを煮るより多く飲てり 同

又方薯蕷の根を搗けを煮るより多くのこを煮てり 同

又方紫胡八分耳草二分水天目に一盞入煮て八分煮つて熱し

より飯食後服用く 衛生易簡方

小兒疳積其甚く頭痛とる 本草綱目

時疫渴つとる

生藕とつたけは煮るに二合半の中へ蜜と右の汁十を一汲いれ搗き

飲く 肘後備急方

又方藍澱一ふやど水二合半の内へれかきゆぜのこを煮てり 本草綱目

時疫多しとる人其飲しとやまると命やうさふ

生地黃生芍薬葉を搗たらしけを煮る麝香かむりれ汲て

の水にゆれのびへ心のちり涼しさをわくくり 同

時疫熱甚つとるね札のこくけり火を水をも思ひけり

若参を粉し一蜜しをすり枇杷の核の大きき丸し十粒つて煮る乃

煮湯しを用ゆは若参以て煮て用も 同

又方芭蕉の根を搗けを煮るより多くのこを煮てり 肘後備急方

時疫頭痛面卒に行熱毒肉をせりくは是赤く腫るはゆれハ

痛つとる

牛蒡子以て研らして酒にゆれ煮てつと膏を紙にゆり腫る

・市に付くより并に右の膏紙酒にこれ飲ばばひき痛むべし
又方虎杖根をさし水に煮くそけし痛むをひくそ
時疫熱病多く目黄く小便も黄く黄疽のつくなり
竹葉又合小麦七合石膏十合二升又合して煮て七合を粟ト

彙聚
單方
本草
綱目

はら飲より同
又方首着根を搗けを煮りより多く飲痰を吐てり
衛生易簡方

時疫癘斑いより赤くもくもくあるもの紙せむるなり
蝦蟇一ひき腰をやすり腸を取せり搗てり煮てり或は

五月五日に蝦蟇をすり乾し焼粉して白湯にて用たり
又方本香以あり一粟ト用ゆ 本草綱目
肘後備急方

時疫熱胃よりあり狗を煮くもく喉の或は下して後胃中虚
く出るとあり

茅根一合葛根一合水天目二合入一盞一粟ト用たり同

時疫吐つてく食をせられり小
雞子二つゆを煮て水に沸して冷水の内へ注してよく冷する

肘後備急方
又方半夏五分生姜一分水天目一盞入一盞一粟ト用たり
肘後備急方
本夏の奉製法はのふあり

時疫熱之病中をいふ煩くは
菊花一合水三合煮く一合煮つち板に布に右の汁をひ

しあり狗の上を搗てり 衛生易簡方
肘後備急方

時疫熱毒多く下血する
羚羊角を粉して白湯に煮く飲下りたり
肘後備急方

時疫熱頭大に腫るを人頭瘡といふ
黑豆半合炒甘草多りて一分水二合煮く一粟ト飲てり
本草綱目

時疫熱病の後痢病多く膿血を下し不食する
白粉骨を粉して一二合飯のそり湯に煮く用ゆ
肘後備急方

時疫愈く後卒に汗を勞し或は食或は酒をたに傷れ

肘後備急方
葱甲を焼一二五白湯よく用ゆ

又方甘草と水よく濃煎すのそそり 同

又方芦根を水よく煮すのそそり 同

又方山梔子十三ささこみ七合半よく煮つち飲て汗を出し

りし合そそり 同
衛生易簡方

又方杏仁十五粒又合よく煮す一合よく煮つち飲て汗を出し

肘後備急方

正月元日に麻子十四粒小豆十四粒を白湯よく煮下をぬり

并に麻子小豆十四粒つ井のうらへ投入れり 肘後備急方

又方芍薬を小肘疫と熱病人の床の四角に灸を二仕つと

まば一家の者肘疫の邪にそまきととなり 同

又方小豆を新しき布囊に入れ井の中に入れて三日にして取出し

男は十粒女は二十粒香へり 同

又方降香香灰焼くより小兒は茶を煮てけり 同

又方呉茱萸十五と井の中に入れて飲食用より 彙聚單方

中寒

寒氣小なり頭痛を強なり

胡椒七粒丁香七粒粉す葱白を搗膏のどろり右二味をとり

まぜあまのうらへりあまを合よく搗り其まを脛の内へ入れ後

杖あつて度ひ附く汗を出して愈へり 本草綱目

又方呉茱萸二五水よく煮す 同

又方胡椒炒熱す内へ搗酒よく入飲なり 同

中濕

湿ありる小便せうべんをづりて便べんくづる事

附子ぶし七なな片ぺんをらひて桂けい二十にじゅう片ぺん甘草かんさう一いち片ぺんをらひて合あはれて飲む事

生姜しょうきやう七なな片ぺん水すい天てん目め一いち盞さんをらひて一いち盞さん水すいをらひて飲のむ事

湿ありる口くち燥そうくづく事

白木びやくもく二に片ぺんをらひて酒しゆ天てん目め一いち盞さんをらひて一いち盞さん水すいをらひて飲のむ事

者ものふらふ事をらひて葉え下げ用もちゆ日の中なかにここを入いれて飲のむ事

中熱

大暑たいしよの節せつをらひて天てん一いちをらひて歩ありて或ある農人のうじんをらひて目めをらひてつけられ

暑ありる小便せうべんをづりて咽のど渇かつく事

夢ゆめの系けいをらひて波なみ黄わうトのびべ一いち 本草綱目

又方また白麩びやくぶをらひて水すいにここを入いれて飲のむ事 同

又方また白朮びやくじやく二に寸すん許こをらひて水すいにここを入いれて飲のむ事 得効方

又方また生姜しょうきやうをらひて一いち塊くわいをらひて水すいにここを入いれて飲のむ事

又方また蘇そ子し研けんをらひて水すいにここを入いれて飲のむ事 同

又方また此これをらひて水にここを入いれて飲のむ事 同

又方また此これをらひて水にここを入いれて飲のむ事 同

又方また此これをらひて水にここを入いれて飲のむ事 同

又方また此これをらひて水にここを入いれて飲のむ事 同

又方また此これをらひて水にここを入いれて飲のむ事 同

又方また此これをらひて水にここを入いれて飲のむ事 同

又方また此これをらひて水にここを入いれて飲のむ事 同

又方また此これをらひて水にここを入いれて飲のむ事 同

又方また此これをらひて水にここを入いれて飲のむ事 同

霍亂 附交腸痧

霍亂乾嘔止ざり

良姜一匁を二ツ水にて煮て漿とせしめて用ゆ 本草綱目

又方薤の根水にて煮て漿とせしめて用ゆ 同

霍亂吐逆止ざり

糯米一匁を二ツ水にて煮て漿とせしめて用ゆ 衛生易簡方

又方陳皮生姜水にて煮て漿とせしめて用ゆ 同

又方梨の枝と葉と水にて煮て漿とせしめて用ゆ 同

霍亂同さうざり

東じこの根のちびとり水にて煮て漿とせしめて用ゆ 本草綱目

又方芦根一匁を二ツ水にて煮て漿とせしめて用ゆ 同

又方柘の葉と桑の葉と六匁を二匁の水にて煮て漿とせしめて用ゆ 同

又方茶一匁水にて煮て漿とせしめて用ゆ 衛生易簡方

又方葱白根二匁を二ツ水七合半にて煮て漿とせしめて用ゆ 衛生易簡方

又方乳母と燒雞子一つを七合半の中へ入れ攪まぜ飲せしめて用ゆ 衛生易簡方

霍亂嘔渴つら

芦の葉水にて煮て漿とせしめて用ゆ 本草綱目

又方藜子七分を湯にて煮て漿とせしめて用ゆ 同

又方陳倉米又合し水一升又合し煮て漿とせしめて用ゆ 同

又方黄梁米一升一水二升七合一煮つら多くの漿とせしめて用ゆ 同

霍亂嘔つら

茶汁を飲せしめて用ゆ 肘後備急方

霍亂泄瀉止ざり

艾葉をみりて煮て漿とせしめて用ゆ 千金簡易方

又方附子一枚を七厘に切らば、紙糊の肉へ入れ、煨へ、皮と脂とを削り、三つを二五塩二分を厚く、天目二五入一五、一五トつめ、飲せり。肘後備急方、附子の毒製法あり。

又方劉寄奴草を水で煮、葉ト用也、痲病のどにかろ、一用也。本草綱目

霍乱吐下止る方

芥子次搗細し、水で洗り、臍に傳せり。同

又方扁豆番薯各分水、天目二五、一五トつめ、用也。同

又方胡椒千粒を香く、又胡椒四九粒、绿豆百四粒、同ト粉にし、一五づ木瓜の煮湯、一五づの、一用也。同

又方蓮藕を搗け、煮るの、一用也。同

又方梅干、一五づ、一用也。同

又方乾姜粉、一五づ、一用也。同

又方陳皮、裏をよき、剉し、薑香、一五づ、水で煮、一用也。千金簡易方

又方桃葉、水で煮、一用也。衛生易簡方

霍乱吐下止る方

大蘇一頭を搗き、井の水、一五づ、一用也。得効方

又方葱、一五づ、天目、一五入、一五入、煮、一用也。同

又方葱、一五づ、姜、一五づ、一用也。同

又方臂と腿との肉のあり、乃横紋の上、湯をひ、一用也。同

又方刺、一五づ、血を引、一用也。同

霍乱吐下止る方

乳を指、一五づ、下、骨の、乃、小豆の、一用也。同

又方、一五づ、一用也。同

又方、一五づ、一用也。同

千金簡易方

暑氣の付分... 霍乱の腹痛強きもの

本草綱目 附子の車製法はのりあり

又方吳茱萸木瓜... 暴證知要

乾霍乱吐せん... 治法彙

同方... 暴證知要

小蒜を水... 本草綱目

又方紫葳... 暴證知要

用てとせり... 同

又方玄に穴... 同

又方生薑... 同

又方塩を炒... 同

又方巴豆... 同

又方塩二... 千金簡易方

霍乱吐... 暴證知要

塩を胸の中... 暴證知要

又方藜蘆... 暴證知要

又方藜蘆... 暴證知要

又方藜蘆... 暴證知要

又方藜蘆... 暴證知要

又方藜蘆... 暴證知要

又方藜蘆... 暴證知要

又方藜蘆... 暴證知要

又方藜蘆... 暴證知要

又方藜蘆... 暴證知要

若流のしほり尖つてたちの脊の傍を破り血を出し或は
の尖をちりて血を出し

又方好白岩の粉を水にけし湯を用て

又方針してその粉の凡甲を一分をねりて刺血を出さべし又

よ接し魚血を指の頭小あつちを計りて一血を出せば

又方胡椒葉豆若四十九粒研粉し水にねりて湯を用て

又方塩十粒湯に入らざる痛人の口中小そぎれ指の

小つれいさこやじり 救急易方

感冒

風邪小あがり熱して頭痛する

葱の白根と葉を湯に煮てつぶしれ熱して合

又方葱の白根を水に煮て先生姜一塊を湯に煮て飲下

又方黑豆二合炒黒く酒の中へ入焚くを飲衣服を厚くね

又方葱白二三分を湯に煮て飲下

又方生姜はもに搗き入焚くを飲下

又方小あがり又風をひきとるを

葱根一石黄米一石茶各一分草一分を二つ水入目一二

盃入一盃小煮下目一二夜用く

風邪寒熱ありく瘧疾ひづる

生薑一握ワヤヤ中下なる津を嚙く

風邪鼻あがり眼涙ひづる

本草綱目

痰飲 痰飲の 癆瘵 癆瘵の 肺癆 肺癆の 嗽 嗽の 吐衄 吐衄の 痰 痰の 痰飲 痰飲の

痰飲

一切の痰瘵

夏と冬便 夏と冬便 ひび ひび 秋冬 秋冬 に侵 に侵 二月 二月 夏 夏 に侵 に侵 二月 二月 少 少 取 取

あけ あけ ぬ ぬ そ そ あ あ ひ ひ 乾 乾 粉 粉 白 白 湯 湯 入 入 の の せ せ じ じ

又方 又方 煮 煮 く く 嫩 嫩 の の 拵 拵 少 少 少 少 の の 汁 汁 滴 滴 刺 刺 の の 水 水 煮 煮 ひ ひ 搗 搗 下 下 市 市

少 少 後 後 又 又 汁 汁 二 二 粒 粒 少 少 少 少 の の 湯 湯 入 入 火 火 と と ゆ ゆ け け して して 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

つ つ り り や や 三 三 粒 粒 煎 煎 せ せ 煮 煮 乾 乾 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

又方 又方 拵 拵 一 一 つ つ 拵 拵 少 少 少 少 の の 汁 汁 滴 滴 刺 刺 の の 水 水 煮 煮 ひ ひ 搗 搗 下 下 市 市

弦 弦 と と 少 少 少 少 の の 湯 湯 入 入 火 火 と と ゆ ゆ け け して して 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

又方 又方 夏 夏 の の 粉 粉 と と 少 少 少 少 の の 湯 湯 入 入 火 火 と と ゆ ゆ け け して して 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

煎 煎 乾 乾 の の 中 中 入 入 煨 煨 一 一 粒 粒 煎 煎 乾 乾 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

煎 煎 乾 乾 の の 中 中 入 入 煨 煨 一 一 粒 粒 煎 煎 乾 乾 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

又方 又方 陳 陳 皮 皮 を を 粉 粉 して して 二 二 三 三 日 日 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

胸膈 胸膈 痰塞 痰塞 一 一 つ つ 拵 拵 少 少 少 少 の の 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

拵 拵 乾 乾 の の 中 中 入 入 煨 煨 一 一 粒 粒 煎 煎 乾 乾 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

又方 又方 陳 陳 皮 皮 を を 粉 粉 して して 二 二 三 三 日 日 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

又方 又方 陳 陳 皮 皮 を を 粉 粉 して して 二 二 三 三 日 日 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

又方 又方 陳 陳 皮 皮 を を 粉 粉 して して 二 二 三 三 日 日 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

痰胸 痰胸 の の 中 中 に に わ わ り り 七 七 日 日 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

又方 又方 陳 陳 皮 皮 を を 粉 粉 して して 二 二 三 三 日 日 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

又方 又方 陳 陳 皮 皮 を を 粉 粉 して して 二 二 三 三 日 日 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

又方 又方 陳 陳 皮 皮 を を 粉 粉 して して 二 二 三 三 日 日 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

又方 又方 陳 陳 皮 皮 を を 粉 粉 して して 二 二 三 三 日 日 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

丸 丸 二 二 粒 粒 煎 煎 乾 乾 の の 中 中 入 入 煨 煨 一 一 粒 粒 煎 煎 乾 乾 湯 湯 入 入 り り 煮 煮 乾 乾 一 一 粒 粒 煎 煎

又方砂仁を搗き^て兒蘇菊の絞汁^をとて^浸し^て焙^じたり^て煉^じたり^て用^ゆ也
彙聚單方

咳を吐^きても^吐け^ず痰^を吐^きて^は治^する^べし^と云^ふ

小豆^を炙^りて^粉と^し二^分を^厚草^烏二^分を^厚粉^として^餅糊^と生^じて^汁を^右の^粉と^和り^て煮^じて^丸と^して^一粒^づを^夜に^用ゆ^べし^と云^ふ
本草綱目 小豆の^{製法}の^事あり

痰狗^を小^豆と^和り^て煎^じて^丸と^して^用ゆ^べし^と云^ふ

茯苓^を炙^りて^粉と^し七^分を^厚粉^として^餅糊^と生^じて^汁を^右の^粉と^和り^て煮^じて^丸と^して^一粒^づを^夜に^用ゆ^べし^と云^ふ
衛生易簡方 半夏の^{製法}の^事あり

又方厚^朴皮^を炙^りて^粉と^し二^片を^厚粉^として^餅糊^と生^じて^汁を^右の^粉と^和り^て煮^じて^丸と^して^一粒^づを^夜に^用ゆ^べし^と云^ふ
同 半夏の^{製法}の^事あり

又方赤^石脂^を粉^として^二分^づを^厚粉^として^餅糊^と生^じて^汁を^右の^粉と^和り^て煮^じて^丸と^して^一粒^づを^夜に^用ゆ^べし^と云^ふ
同

又方葶^藶を^粉と^して^二分^づを^厚粉^として^餅糊^と生^じて^汁を^右の^粉と^和り^て煮^じて^丸と^して^一粒^づを^夜に^用ゆ^べし^と云^ふ
同

同

風痰^を咽^せり^て吐^き出^する^べし^と云^ふ
半夏^を炙^りて^粉と^し二^分を^厚粉^として^餅糊^と生^じて^汁を^右の^粉と^和り^て煮^じて^丸と^して^一粒^づを^夜に^用ゆ^べし^と云^ふ
神^の大^豆の^皮を^粉と^して^二分^づを^厚粉^として^餅糊^と生^じて^汁を^右の^粉と^和り^て煮^じて^丸と^して^一粒^づを^夜に^用ゆ^べし^と云^ふ
本草綱目 半夏の^{製法}の^事あり

風痰^を吐^き出^する^べし^と云^ふ
天^南星^を炙^りて^粉と^し二^分を^厚粉^として^餅糊^と生^じて^汁を^右の^粉と^和り^て煮^じて^丸と^して^一粒^づを^夜に^用ゆ^べし^と云^ふ
椒^を炙^りて^粉と^し二^分を^厚粉^として^餅糊^と生^じて^汁を^右の^粉と^和り^て煮^じて^丸と^して^一粒^づを^夜に^用ゆ^べし^と云^ふ
治法彙 半夏の^{製法}の^事あり

又方厚^朴皮^を炙^りて^粉と^し二^分を^厚粉^として^餅糊^と生^じて^汁を^右の^粉と^和り^て煮^じて^丸と^して^一粒^づを^夜に^用ゆ^べし^と云^ふ
得効方 半夏の^{製法}の^事あり

又方胡椒^を炙^りて^粉と^し二^分を^厚粉^として^餅糊^と生^じて^汁を^右の^粉と^和り^て煮^じて^丸と^して^一粒^づを^夜に^用ゆ^べし^と云^ふ
製法の^事あり

風痰^を吐^き出^する^べし^と云^ふ
白^僵蚕^を炙^りて^粉と^し二^分を^厚粉^として^餅糊^と生^じて^汁を^右の^粉と^和り^て煮^じて^丸と^して^一粒^づを^夜に^用ゆ^べし^と云^ふ
製法の^事あり

喘入飲より 本草綱目

風痰を食ふれりゆり

小種花を干かへし焙粉し一二五つを後小をて用也

花をより 彙聚單方

痰つれ物火のり

藕の汁梨の汁を分ちてまぜ飲べ 本草綱目

痰を狗背おろしてつて痰をまじり

栝楼仁を炒熟を去りざりざり研て丸ト二十粒を飲

のり湯をて用也 同

痰飲つる上は眩暈小便便を飲食すまじり

吳茱萸炒湯をて泡白茯苓を分ちて丸ト七粒を丸ト

く五斗粒を白湯をてのむべし或は温酒をて用也 衛生易簡方

脾胃弱くは痰けえ

生附子一匁半夏一匁 又片八分天目小二匁入七をて丸ト

中後一匁也 本草綱目 附子の毒 半匁の毒 鉄石の毒あり

酒を多く飲むより痰をせり

栝楼仁を炒熟を去りざりざり研て丸ト二十粒を丸ト 彙聚單方

痰を癥血をわね胸のありをて痰をまじり

桑木焙粉小くして炙るを麻を水を入研細くして丸ト十粒を丸ト

肉半研細くして何もつては胡椒の毒を去りて丸ト十粒を丸ト

湯をて用也 治法彙

俄に痰を吐く

せゆつて喉小く死にれ痰を吐せしを食べ 得効方

喘息

喘息い痰つる咽せりつ息せりしをいふ

椰子の皮をとり肉をくり孔をあけその肉へ細く黒豆をすりこみ
切らる蓋をして蒸さざら糖の火に肉へ埋ち煨て一熟し熟し搗餅と
す一毎日食して一 本草綱目

又方山菜を搗たらし一五丹麩の汁をとりて一五粒を蒸熱し
ちりり飲べ一 同

又方桑木肉を蠹虫一合炒乾葡萄子半合炒杏仁皮尖を小半合
炒耳葉二枚を炒り粉をすり蒸す餅糊して柿胡椒の皮を油に下
す粉づく蒸す生善湯とて用ゆ 治法彙

又方滑石を鍾乳粉十石菊葉蒸け小半を炒て十石目どく
粉を乾粉を煮く葉と核とをすり搗きこす前の二味の粉を
つぎを胡椒の皮を丸で四十粒を蒸す生善湯とて飲べ一 同
けしと用ゆ 得効方

又方胡椒肉を研細し一 五の皮を蒸す七粒を入碎て一 同

さふ丸トに中しやと津をいそ下すべ一 同

率小丸の作り喘息つと絶いらんすなり

進を搗けをとりすり二三合後のとて一 煎後備急方

又方桑根白皮二合生善二合呉茱萸半合水七合酒五合を
煮て二夜やど沸てを清をとりを汁を多く用ゆ一 同

又方干姜二石酒二合をすりを清をとりを汁を多く用ゆ一 同

肺熱を喘息すりふ

薤白搗けをとりすり二三合後のとて一 衛生易簡方

又方胡桃肉十石細葉末を研りを密に搗枇杷の皮を丸ト
口中にやとり出の小をとりて一 衆妙方

又方竹芽根をすりこみ水とを蒸熱し合後飲べ一 本草綱目

又方透明阿膠をすりこみ炒茶葉後烏梅肉焙り研りを丸ト水と
煮て用ゆ喘息して上目づひと用ゆ 同

息痔瘻 へんそく

銀杏七ツ 煨炭の肉よりれ煨一熟一粒づ煨艾とてろを紙よう
と身ハ煨一艾をより銀杏よりを食してより 本草綱目

又方銀杏二ツ 麻黄を其葉よりて四分水天目一匙入八分より
トつち用ゆ 同

又方銀一匙をさ四十ふぐひかりと糖をより紙に炭をもちて煨炭
入煨一熟一取出一骨びより研たら一糖一匙煮て六の程
の肉をいれ目どく煮て合してより 衛生易簡方

又方白蠶五蚕 細糸を粉うし白湯入かきまを夜さゆ
のこまきより 同

喘息つらう喉の中喘久しく愈がらば
雞子をかき一敲換ド小便の内へ二日以内一丸出煮て食す 同

又方榆の白皮を洗干し糖粉して二直水天目二直入

食積の瘕 せき

粟下つち 餛のどくにて日夜よりさうて用ゆ 同

枳椇仁は夏山査汁煎炒を粉うし枳椇の汁にて煮り

胡椒の末を丸ド二三十粒づ煮汁小竹酒をさうたの丸薬を
用ゆ 得効方 夏のもの製法あり

又方枳壳十石炒桂十石枳椇二十石夏熱湯にて泡く七夜して
二十石右回味同ド粉うして生薑汁にて煮るげす糊して枳椇

の大小丸ド二十粒づ食後小姜湯にて用ゆ 同

辛久しく咳ぞ喘息して眩或は血を唾して止らば
蘿蔔子一合搗碎し水にて煮ド食後小のこより 衛生易簡方

又方桑の枝をささぎ水にて煮ドのこより 同

喉ぞ喘息久しくやば自汗出らば
聖粟殼を炒粉して二直烏梅一箇水に煮ドうけし食

後、飲下してより、蒸研をせざる、小い厚中、麦、干粒、入、桑、下、菊、方、
喘息、胸、心、む、
半、夏、七、粒、換、湯、を、炒、粉、小、一、薄、糊、を、移、り、相、椒、の、大、を、丸、生、姜、湯

一、二、三、粒、づ、の、其、一、治、法、彙

痰、下、喘、息、一、分、煎、を、か、ひ、り、
半、夏、七、粒、換、湯、を、泡、皂、皮、と、後、と、こ、り、寸、耳、草、を、り、て、寸、生、
姜、粉、の、大、を、移、り、を、一、つ、水、大、茶、碗、に、一、盃、入、小、黄、一、盃、
飲、べ、同

或、い、憂、或、い、驚、小、り、丸、の、り、喘、づ、小

半、夏、二、五、分、を、伏、苓、二、五、分、一、分、を、桑、葉、一、分、を、合、こ、
生、姜、七、片、を、二、つ、入、水、を、煮、下、用、也、得、効、方、
老、人、丸、を、二、つ、り、喘、息、
痰、子、白、芥、子、菴、菴、子、各、半、分、紙、の、上、こ、少、炒、搗、を、丸、一、五、分

老、人、久、く、喘、息、を、づ、り、ひ、款、ぞ、用、と、な、り、づ、り、
杏、仁、皮、と、尖、と、以、去、相、推、の、因、等、を、研、た、ら、し、湯、中、に、移、り、
枇杷、の、核、を、一、九、上、二、粒、づ、合、後、或、い、寝、さ、り、喘、づ、生、姜、
湯、を、飲、り、と、一、衛、生、易、簡、方

猪、小、つ、と、煎、湯、一、入、桑、の、代、小、の、一、一、生、姜、を、加、へ、利、也、方、
老、人、久、く、喘、息、を、づ、り、ひ、款、ぞ、用、と、な、り、づ、り、

小、兒、痰、を、喘、息、す、り、
巴、豆、一、粒、換、湯、を、一、と、り、づ、り、と、鼻、小、ゆ、き、を、と、り、一、男、子、を、鼻、
乃、た、の、孔、を、よ、右、左、の、孔、へ、塞、げ、ば、痰、た、の、づ、り、出、く、愈、一、
本草、
綱、目、

效、嗽

款、嗽、や、ほ、ら、ふ

栝、楼、仁、を、煮、り、熟、し、た、り、を、一、つ、杏、核、り、子、を、一、つ、杏、仁、皮、を、と、り、
栝、楼、仁、の、數、粒、右、二、味、大、を、煖、粉、一、一、粉、糊、を、移、り、大、豆、の

又方九卜四十粒薤菹と水とを煮て煮たるけしを寝るる月也
 又方薤菹子抄炙て粉して砂糖とてすり枇杷の核の大小
 丸と納しうきこはふ少くもけを嚥下してより同
 又方貝母を粉して砂糖水とてすり丸と白濁とを津して飲
 りまじり 衛生易簡方

肘後備急方

又方核櫻をこきとて煮便して煮たのこをすり
 又方枇杷の葉をこきとて焙乾して煮た用白糖とて水と
 煮て飲ぶ 彙聚單方

又方括樓仁を煮乾湯水泡して七夜とて焙乾し粉して
 くとろふ生薑汁とてやろげり方糊してすり胡椒のろふ丸と
 辛粒づく食後とて湯とて用也 得効方

肘後備急方

又方百部根甲子とこきとて二升み合し候し二煎とて煮内と極め
 飲くより同

又方生薑二十粒搗けを煮りとり干薑と粉少して干白告仁二
 合を皮をすり煮て之を合し搗まを丸とて白湯とて用也 同

又方梨一顆誰とて孔を五つあけ胡椒を一粒づ孔の内へ入れ粉して
 くとろふ熱灰の内へ丸とて胡椒ををれとて煮て
 食しより同

本草綱目

欬嗽久くやばるる

又方粟殼内のこきけりり去毒しかきまを糖り粉してみ
 づ湯と煮とくとまを粉して方病人を苦しきとて煮たり考し同
 又方鹽を煮て十五葉と肉の薄くと割りすり粉して煮たり
 炒烏梅二五葉り同とくと粉して煮たり煮たり

用ゆは方虚分の嗽自行らど苦く用くよう本草綱目

又方生姜を搗くごとく二十枚錫八十枚同ドく煮熱く連く合一

又方紫菀十枚欬を花十枚百枚根を粉してこむ生姜二片烏梅一ツ水くそ煮ドらけそ用ゆ同

又方陳皮赤麩生姜焙りかき粉を粉し餅糊して餅り大豆のろした丸ド七十粒煮了ゆ白湯して用ゆ同

肺熱く咳欬せ胸中苦く指搗仁十五枚夏熟湯小母くごと七度して十枚粉し麩粉とせ煮けりそは右の二種の粉とせり大豆のろした丸ドと百粒合後し生姜湯してのそトとと

又方梨を搗けを煮けり飲く久しく欬せ喉中息つらいの者煮ありと眠くあり

又方梨を搗けを煮けり飲く久しく欬せ喉中息つらいの者煮ありと眠くあり

白粉を搗粉して二枚温まり用ゆ肘後備急方

又方藍の葉と葉と水く浸し煮く搗き粉りけ二三合煮り小飲べりそ煮くして杏仁を研みと煮びとりはれ

其けく粥と煮く合して年久しく痰嗽いて上る息だうと小

又方芍薬子と研つる水く煮く合後一のそ衛生局間方

欬嗽つる胸脹らふ立靈筋二十枚胡桃仁八十枚柏子仁五枚粉すり水く粉り小豆のろした丸ド早粒で甘草の煮湯してのそトと

欬嗽けくありあがれらふ治法彙

又方生姜をのそく又方生姜をのそく

又方生姜をのそく又方生姜をのそく

滑石五分 甘草一分 厚朴一分 加へ粉して一二分づつ白湯にて

用ゆ 治法彙

虚合して熱あり 欬嗽いで 眩暈を吐口中并に舌咽までかかるとらふ

黄芩四分 甘草一分 厚朴一分 加へ粉して一二分づつ白湯にて

欬嗽やまらば 痰小血まじるとくいづらふ

百合を煮て 燻り 欬嗽花を粉して 蜜とせ粉り 龍眼肉乃

入るに九ド一二分づつ 合ぬ小生薑湯とせのをそり 得効方

又方 小兒胎毒を 煙灰と 麝香がどろり入るて用ゆ 本草綱目

欬嗽甚しく 鮮ゆる血を吐く

桑根白皮八分 甘草一分 厚朴一分 加へ粉して一二分づつ 白湯にて

去粉茶二十分 燻り 同く 粉茶と 二三分づつ 飯のそり 湯にて

用ゆ 肘後備急方

吐血の後 欬嗽いづらふ

紫苑五分 葶藶子同く 炒粉して 蜜とせ粉り 炙子の入るに九ド

一粒づつ 嚙むと 飲べ 本草綱目

血得りて 欬やまらば

桃仁大 炙酒小ひく 炒粉して 蜜とせ粉り 炙子の入るに九ド 飲べ 治法彙

此方の 欬嗽息絶せしむとく 宜むとらふ

半夏十分 南星十分 因桂五分 粉して 糊とせ粉り 大豆の大豆

丸小百粒 粉して 生薑湯にて 用ゆ 同 半夏の多製法法の要あり

湿瘰癧を 欬嗽いで 牙をりく 外とを好む

半夏十分 南星十分 白朮十分 粉して 糊とせ粉り 大豆

の大豆丸小百粒 粉して 生薑湯にて 用ゆ 同 半夏の多製法法の要あり

生薑を 切焙り 粉して 糯米糊とせ粉り 炙子の入るに九ド

用ゆ 衛生易簡方

酒を多く飲くと軟かやまらふ

白僵天虫を炒粉して一盃茶湯にて用ゆ 本草綱目

又方青白僵拵粉を粉して一盃茶湯にて用ゆ 治法景

又方紫花梨木の汁をのこして一盃茶湯にて用ゆ 衛生易簡方

乾軟いで瘰癧を治す

熟したる拵粉を搗たらう汁を煮たりそり瘰癧を治す 本草綱目

又方白蜜百目生薑二百目拵粉をすりたる瘰癧を治す 本草綱目

又方白蜜百目生薑二百目拵粉をすりたる瘰癧を治す 本草綱目

又方白蜜百目生薑二百目拵粉をすりたる瘰癧を治す 本草綱目

又方白蜜百目生薑二百目拵粉をすりたる瘰癧を治す 本草綱目

又方白蜜百目生薑二百目拵粉をすりたる瘰癧を治す 本草綱目

軟軟い瘰癧を治す 治法景

乾薑白蜜同トく火の赤 入山 桂心 二味を粉して

瘰癧を治す 本草綱目

軟軟い瘰癧を治す

耳廣の汁を四合をかりとる 本草綱目

食を治す 同

大人小兒小う瘰癧をつく 本草綱目

瘰癧をつく 本草綱目

老人軟軟をつく 本草綱目

生薑汁を合砂糖に合火をゆるくして煮たり 本草綱目

瘰癧を治す 傳信元易方

小兒軟軟を治す

瘰癧を治す 衛生易簡方

又方生薑を多く水で煮たり 本草綱目

又方生薑を多く水で煮たり 本草綱目

九粒一棗五倍子の黄湯の肉へ入つて煮用白嗽法よくあつた
ざらふり 本草綱目

又方貝母貝母又方甘草甘草二各五分あがり羊舌羊舌七粒七粒一砂糖砂糖水水
神り炙子の大きに九粒一棗飯のすり湯ふれ砕砕ふふ用ゆ小
児の百日嗽ふり 同

肺癰 肺腫

肺癰の肺の腫腫とせし大抵嗽嗽いて肺肺に救あつて咽咽ひひきき合合
湯湯りりなるなるぐぐくく久久してして眩血眩血を吐吐きき独血独血を吐吐の中の中へへせせてて沉沉むむあり
栝栝枝枝一一枚枚甘草甘草二二枚枚水水天目小天目小二二粒粒一一棗棗二二粒粒用ゆ
眩血眩血を吐吐つつてて痰痰へへ 同
又方又方甘草甘草一一枚枚二二枚枚紙紙ををるるぐぐくく抄抄ばば茶茶ををここしし水水天目天目二二粒粒入
ふふりり小小茶茶一一用ゆ 得効方

又方真鍾乳真鍾乳粉粉十十分分滑石滑石二二寸寸五五分分粉粉ううてて二二分分をを飯飯ののすり湯すり湯ととしし同
又方又方甘草甘草一一枚枚一一棗棗一一枚枚水水二二寸寸をを水
七七合合小小茶茶一一枚枚二二合合煮煮つつ右右のの丸丸茶茶一一粒粒とといいぬぬびび黄黄一一二二合合
小小茶茶一一枚枚一一棗棗一一枚枚ののここととしし 衛生易簡方
肺癰肺癰大大抵抵嗽嗽いていて涎涎をを多く多く吐吐きき執執大大性性茶茶一一分分中中燥燥ささ咽咽ひひ
滑滑ららるるものものなり

甘草甘草を水水にに浸浸ちち炙炙トトののここととしし 肘後備急方
又方又方天門冬天門冬をを搗搗けけ一一升升ああがりりすり湯すり湯一一合合茶茶葉葉のの粉粉をを合合
目目どどくく茶茶葉葉一一入入炙炙トト一一枚枚すり湯すり湯一一合合茶茶葉葉のの粉粉をを合合
一一寸寸飲飲べべ 同
又方又方甘草甘草一一枚枚乾乾姜姜九九分分水水天目天目二二粒粒一一棗棗一一枚枚同

嘔逆

呃逆おとくおほるるふ

生薑二二片切して湯本草綱目

又方山椒二二三片炒粉して麩の糊麩の糊と小豆粒小豆粒を丸して十粒づつ湯湯に溶かして用ゆ同

又方波波その水を多々のひびひび 肘後備急方

又方紙紙を鼻の孔鼻の孔をさして嚏嚏を出して湯湯 同

又方皂莢皂莢を粉して鼻鼻に吹入嚏嚏を出して湯湯 同

冒中冒中呃逆おとくおほるるふ

呉茱萸湯呉茱萸湯に浸して七夜七夜して焙りかき焙りかき 湯湯に下下す

又方又方熱熱用ゆ 傳信尤易方

又方細辛細辛又女丁香女丁香二各五分二各五分粉して二枚二枚柿蒂柿蒂の葉湯葉湯に用ゆ 本草綱目

又方硫黄硫黄を紙紙に糊糊を嗅嗅く同

又方何首烏何首烏茯苓茯苓白豆蔻白豆蔻各各五分五分粉して六七六七分分柿蒂柿蒂の葉湯葉湯に用ゆ同

呃逆呃逆久しくやまざるとき久しくやまざるとき四五四五分分を湯湯に下下す

生姜生姜汁汁を合合蜜蜜一じ一じいれ炙炙す同 傳信尤易方

呃逆呃逆つらくおほるときつらくおほるとき

半夏半夏を湯湯に下下す同 半夏半夏の湯湯に下下す同

嘔吐

嘔吐嘔吐おとくおほるるふ

白豆蔻白豆蔻を粉して湯湯に下下す同 衛生易簡方

又方椶櫚椶櫚子子を湯湯に下下す同 肘後備急方

嘔吐嘔吐おとくおほるるふ

葛根を揚げとろりのそそり 本草綱目

又方生姜を齧り粉をけとのそそり 同

又方生姜を粉し白湯にて用ゆ 肘後備急方 生姜のそそり けのそそりあり

又方雞子白とさとり羹とそりちつ七つ種のそそり 同

又方乳の下す小灸と三十壯とそり得効方

痰を熱心やゆるふ 肘後備

葶藶と搗粉して又かき後飯のそり湯にて用ゆ急方

痰壅て乾嘔する狗とく飲食下らざらふ 厚朴とさとり羹け小くさそりせ羹と粉ふ二三飯

のそり湯にて用ゆ 本草綱目

又方砂糖と生姜汁と出さす一葉と干皮和沸とそそり

又方生薑と夏多しと徳薬ト少げそそりと用

又方生薑と夏多しと徳薬ト少げそそりと用

又方生薑と夏多しと徳薬ト少げそそりと用

又方生薑と夏多しと徳薬ト少げそそりと用

水がーづのそそり 治法彙 傳信尤易方

又方猪苓白朮茯苓等粉し飯のそり湯にて用ゆ

又方猪苓白朮茯苓等粉し飯のそり湯にて用ゆ

又方海皮と姜と水天目小二盞とれ一盞とそり

又方松柳一頭陳皮二盞とそり細小とそり

又方松柳一頭陳皮二盞とそり細小とそり

又方松柳一頭陳皮二盞とそり細小とそり

又方松柳一頭陳皮二盞とそり細小とそり

又方松柳一頭陳皮二盞とそり細小とそり

又方松柳一頭陳皮二盞とそり細小とそり

又方松柳一頭陳皮二盞とそり細小とそり

合後、礞石を吐く

干姜、合衆、萊菔、更紗を粉にして二匁、酒を以て用ゆ 千金簡易方

頸の垢を大豆のろを粉にして、硃砂を灸ドてのそり 本草綱目

又方、陳皮、うすを、まき粉にして、みそ、寝る、ふふの肉、これ、

祓り、まの、り、腫、え、二、四、夜、か、用、く、り、同

艾、糸、を、水、に、煮、ド、の、そ、り、同

胃、弱、く、し、て、食、ま、れ、ば、吐、く、を、

藜、藜、藜、藜、と、れ、り、考、る、合、し、て、り 衛生易簡方

胃、中、冷、く、吐、吐、や、ほ、ら、ふ

生、豆、を、粉、し、て、二、匁、白、麩、十、匁、同、く、水、を、祓、り、豆、子、の、こ

き、し、水、を、煮、え、れ、出、し、蒸、け、と、粉、く、揉、み、せ、る、同、い、れ

研く、飲ぶ 肘後備急方

胸中、冷、つ、し、食、ま、れ、ば、吐、く、を、

大、黄、一、匁、甘、草、二、匁、厚、水、天、目、小、一、匁、を、煮、ド、水、を、蒸、し、考、る

つ、り、用、ゆ 本草綱目

胃、脘、に、熱、あり、胃、中、に、寒、あり、と、吐、吐、を、ま、ら、り、

附、子、炮、し、て、二、匁、粉、し、糊、し、て、祓、り、附、椒、の、ろ、を、丸、ド、大

黄、を、夜、小、一、十、粒、り、二、十、粒、を、生、薑、湯、し、て、の、そ、り 得効方

胃、中、虚、冷、痰、あり、と、吐、吐、あり、 附子のる制法はのあり

附、子、二、匁、干、姜、一、匁、生、薑、五、片、水、天、目、二、匁、入、七、分、を、煮、ド、用、ゆ 本草綱目

或、い、本、番、を、加、へ、灸、ド、用、て、り 本草綱目

批、を、き、く、い、へ、る、吐、吐、或、い、酒、を、多、く、の、そ、吐、吐、や、ほ、ら、り、 赤少豆の考、付、を、か、づ、く、の、そ、り、同

又、方、萊、菔、の、粉、を、一、匁、大、酒、小、一、匁、を、煮、ド、食、法、を、飲、べ、 救急易方

又方善振十石半夏散熱湯一泡て十五其草葉うてみみひん
合く二石五石目小一石竹茹一塊生薑六片甘草一兩也 治法
酒を平生多く飲ふより腹を積せし腹脹時吐し腹の
うら水の音のどく喝く

川芎三稜各分粉してて五づ葱白根と水と煮て汁
して用ゆ 本草綱目

小兒吐乳やまは熱さうんあり

善粉二石水二合してて湯をいれ熱湯ゆひてわくち粥
のうの湯をいれうさゆせ用ゆ 同

小兒吐く吐ありふ

五倍子二箇一つは熟して一つは生して甘草二石濕紙して
炮して二味粉しててみみづ茶湯ふれ粉をせ用ゆ
衛生易簡方

小兒風熱あり吐し吐あり

朴硝滑石等分しててみみお水を清油ぬすのうら 粉をのそは方
得効

又方黃連一石五石二十粒ありて目小七石入りみみふ葉と用ゆ小兒の大
小よりて加減とべ 傳信尤易方

又方藜蘆を細小研みみづ生地黄汁うさゆせ粉とべ 同

小兒吐乳やまは熱さうんあり
得効方

生薑と熱湯うて七石泡粉して生薑湯して用ゆ

小兒吐乳やまは熱さうんあり
衛生易簡方

又方煎別葉次粉しててみみ飯のそり湯入る湯を後一兩ゆ 同

又方白豆蔻仁十四其草二石粉して若し小兒の口中に挿てし
本草綱目

又方蒜本かきより塩少く入り乳けを煮て生薑及粉をて生薑を
粟米二粒ゆり入るさゆせ用ゆ 同

又方田中にある蛙卵の泥をとり研細しててみみ飯のそり湯

用沙

又方夏一合海狗尾七合生薑一片水天目小一盞入一盞小
便良方 夏の事別名はのふあり
小兒吐乳糞の多るを治す

コウキ婦人の乳汁一盞丁香十粒陳皮一盞をすき一女入一盞二
十夜寝佛そのそり 本草綱目

襁褓の小兒吐乳して軟便くやまらば

石燕を粉して少づり添へて粉の屑ふりてり 同

噎食

食をれが咽小つて噎て食下らば喉の中に肉塊をやうにおぼへると

丁香一合石燕一合水天目小一盞入一盞小麥一盞入一盞小麥一盞入一盞

本草綱目

又方粉羊角と煨灰とて二五水とれかき用ゆ 傳信尤易方

又方昆布二十枚をわらひ小麥二合水大棗一盞入一盞小麥一盞入一盞

爛熟して付漉を去猪口小一つ夜づらぐのびへ一并に昆布を標か

しおづ口中に少くしてをけを嚥下りてり 同 本草綱目

又方鷓鴣の喉をすり口中にぬるとり

老人噎病よく飲食小らざるに 傳信尤易方

又方批湯一升の中へ白蜜十文入れよくかきまぜ飲せり 同

反胃

反胃の食したる物を吐くことあり時よく吐くともあり或は今日食し

その物をゆりてとるあり

胡椒を研きゆりて一日乾燥し七遍うて粉うして細くして粉り丸ト

三甲粒づ湯で研き少うして用ゆ又い熱灰小埋め炮うして生

姜一匁胡椒七分を重中して煮下用ゆ 本草綱目

又方乾柿二匁半とを焙じらるる小酒を飲下してうかす

又方文へ用ゆるあり 同 但生粉あり

又方液子を粉うして酒うてのそりてう 同

又方伏龍肝を飯のそり湯うてのそりてう 同

又方茅根芦根等を水うて煮下して酒うてのそりてう 同

又方腹散をやらして飯のそり湯うてのそりてう 同

又方生薑汁を湯を煮て合してう 同

又方鹽菜散を水うて煮下してのそりてう 衛生易簡方

又方乳の下一寸を煮下して脈の上守一穴足の下二穴とて酒うて煮下して

壯盛丸九壯うてとるあり 得効方

胃中酸みなり及胃とあり食下して酒うてのそりてう 同

白豆蔻を粉うして酒二三合の内へ入れ湯めのみべ 傳信易簡方

又方附子二匁を薑百字を細小まらと煮て細のどく 同

飯のそり湯うて用ゆ 同

又方附子を粉うして生薑汁をやらして酒うてのそりてう 同 附子の毒制するの

又方附子を粉うして酒うて湯湯うて用ゆるあり 同 あり

又方大なる附子二匁を薑汁を煮乾うて一匙一粒と同く粉は

くかたよりづもの上うて酒うてのそりてう 同

又方附子を粉うして酒うて大豆の大き粒小丸とて七粒水

入煮下して酒うてのそりてう 肘後備急方

及胃食と吐胸中痰多に 傳信易簡方

除は胡椒散を燒灰うて一二匙を飲下して 方

反胃久く瀕く食を介する

母生薑と搗けを煮たりとろ沸ふれかきほせ用ゆ 傳信尤易方

又方其煎けを煮たり一合さし生薑汁二合まうませ用ゆ 同

冷涎反胃い 煮らんととり耐まらば冷らる涎をたぐい 其次食を吐もの之

あく治せざれば命あやうい

大姜た十だ生薑汁た煮だ先だ大姜たを煮りた燥た一た薑汁た一た俾た入た七た反た經た俾た

一た盃た八た七た分た小た姜た一たもろた子た葱た白た汁た食た一た後た黄た湯たを

飲たるた 彙聚單方

普救類方卷之三上 終



